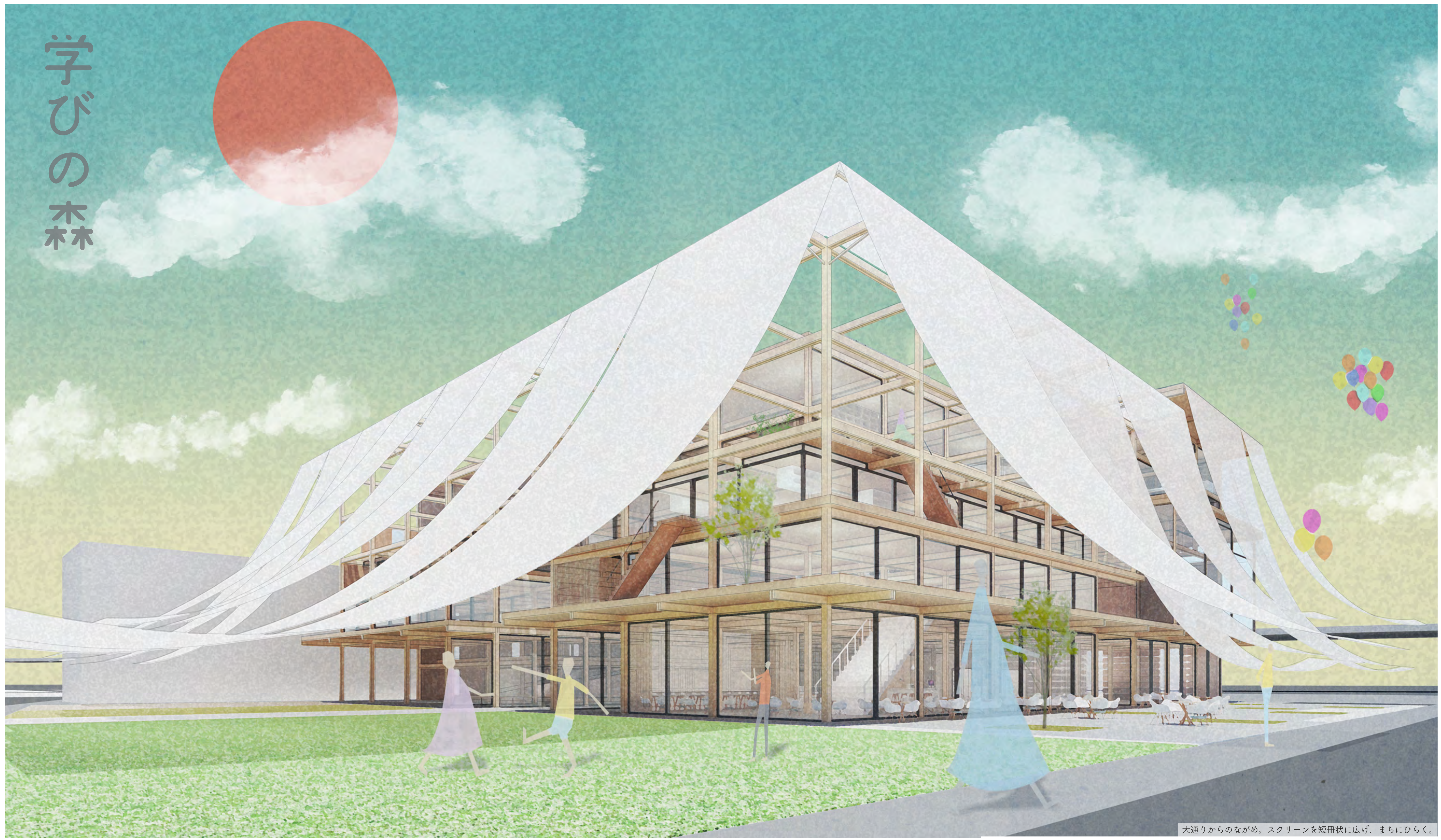
学びの森

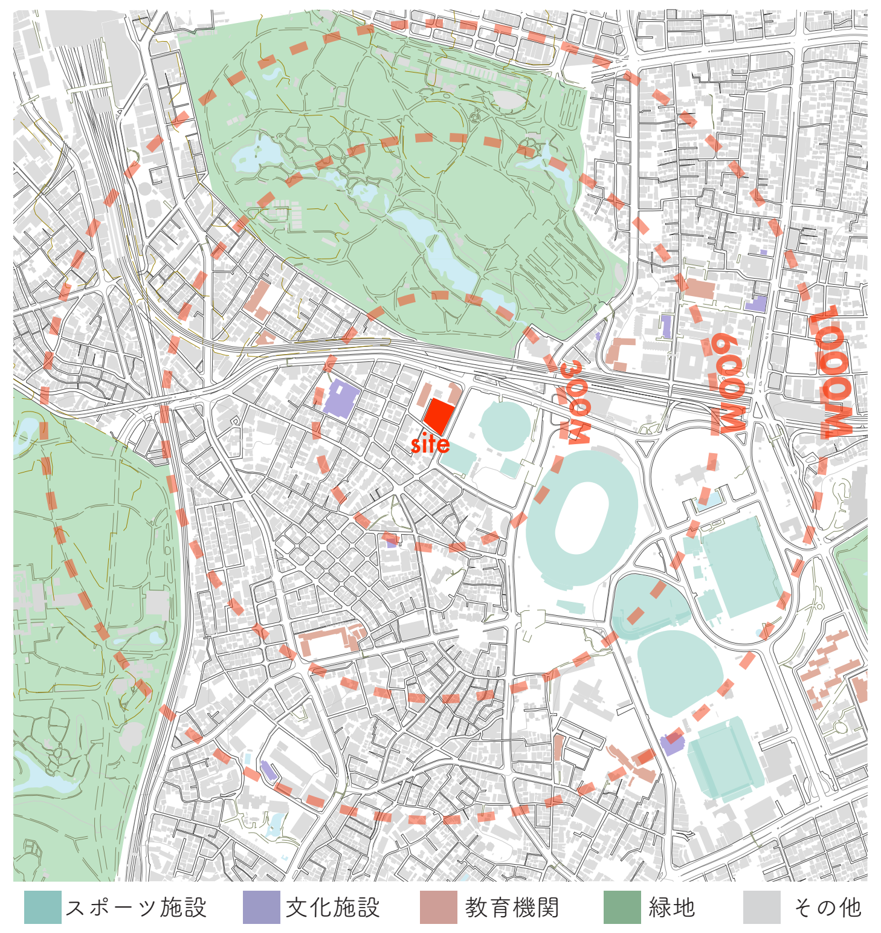

大通りからのながめ。スクリーンを短冊状に広げ、まちにひらく。

図書館には４つの塔がありそれをつなぐように遊歩道がある。それぞれの塔は将棋、能楽、オリンピック、千駄ヶ谷の歴史についての本や資料などがあり、体験教室なども開かれる。

工房は３層吹き抜けになっており幼稚園や Cafe などと繋がっている
工房の右側はチャレンジショップとなっており短期の出店が可能であり工房で製作されたものも販売されている。

01.Background

敷地周辺には幼稚園から大学までの教育機関や国立能楽堂や将棋会館などの文化的な施設が多い。また、新宿御苑や明治神宮外苑など都心には珍しい緑地が豊かである。


site
300M
600M
1000M

🟦 スポーツ施設 🟪 文化施設 🟥 教育機関 🟩 緑地 ⬜ その他

02.Childcare

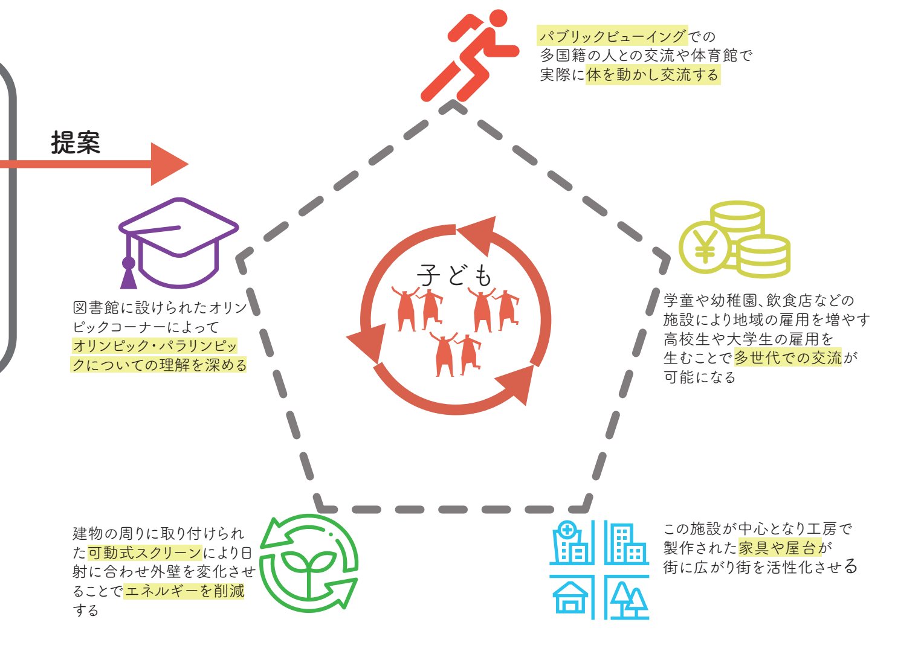
近年、共働きの家庭が年々増加しているなかで、学童保育の利用も増加している。日本の学童保育は親が忙しく仕方なく預けるという側面があるが、海外では子どもたちの余暇や教育の時間として考えられており様々な取り組みがされている。

子どもの遊び場なども制限されるなかで、子どもの主体性を大切にした新しい学童の形があるのではないかと考える。

03.Legacy

５つのオリンピックレガシー

1・「Sporting Legacy（スポーツ）」
2・「Social Legacies（社会）」
3・「Environmental Legacies（環境）」
4・「Urban Legacies（都市）」
5・「Economic Legacies（経済）」



パブリックビューイングでの多国籍の人との交流や体育館で実際に体を動かし交流する

図書館に設けられたオリンピックコーナーによってオリンピック・パラリンピックについての理解を深める

学童や幼稚園、飲食店などの施設により地域の雇用を増やす高校生や大学生の雇用を生むことで多世代での交流が可能になる

建物の周りに取り付けられた可動式スクリーンにより日射に合わせ外壁を変化させることでエネルギーを削減する

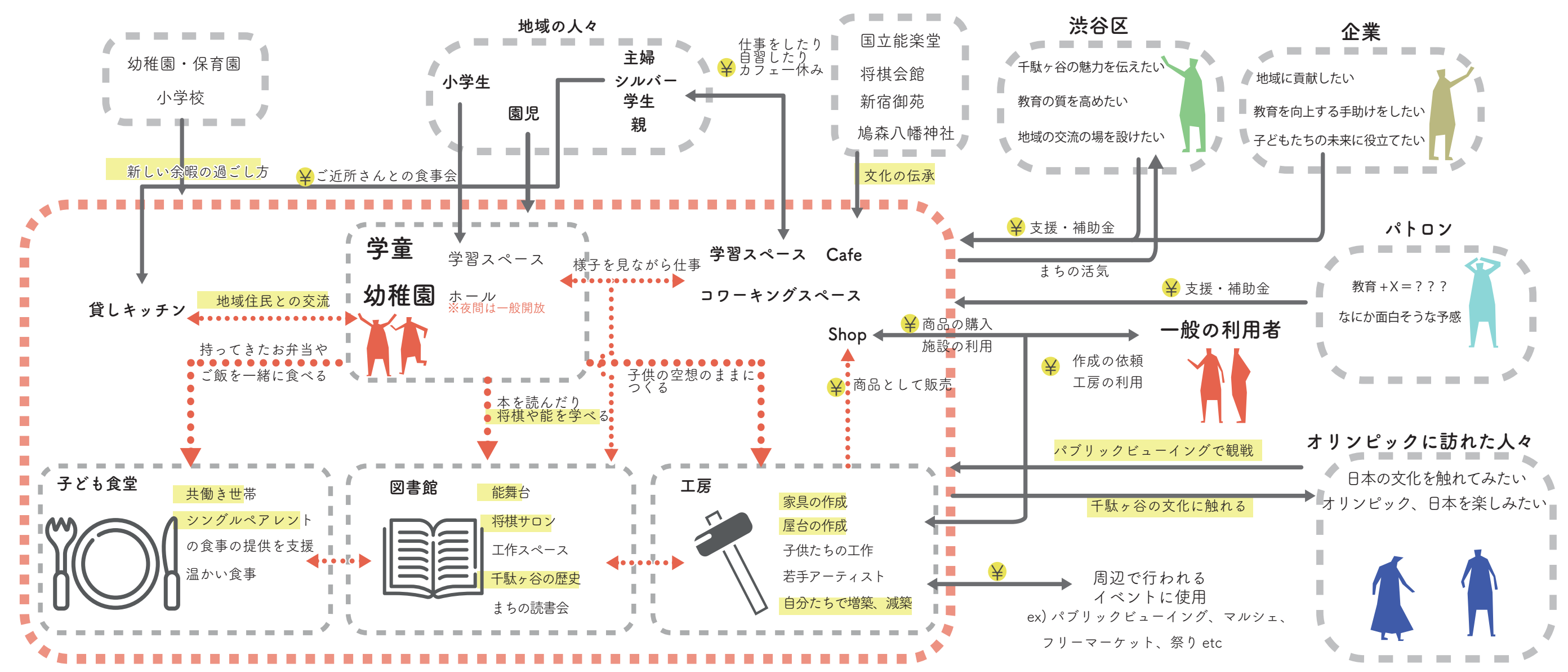
この施設が中心となり工房で製作された家具や屋台が街に広がり街を活性化させる

国際オリンピック委員会（IOC）は、オリンピック憲章の中で、大会のポジティブなレガシーを築くことが自分たちの使命のひとつであると明記し、具体的な分野としてスポーツ、社会、環境、都市、経済の５つをあげており、この５つのレガシーをこの施設を通じて達成することを目指す。

※IOC Olympic legacy booklet

５つのオリンピックレガシーは子どもたちを中心にまわる。その中心にいる子どもたちはオリンピック・パラリンピックについて学び、千駄ヶ谷の文化に触れ合い学ぶ。そして、学んだことを次の世代へ「コト」として伝承され続ける。そして、その流れは「Sendagaya@Legacy」と言えるだろう。

04.Scheme



幼稚園・保育園
小学校

地域の人々
小学生
園児
主婦
シルバー
学生
親

仕事をしたり
自習したり
¥ カフェ一休み

国立能楽堂
将棋会館
新宿御苑
鳩森八幡神社

渋谷区
千駄ヶ谷の魅力を伝えたい
教育の質を高めたい
地域の交流の場を設けたい

企業
地域に貢献したい
教育を向上する手助けをしたい
子どもたちの未来に役立てたい

新しい余暇の過ごし方
¥ ご近所さんとの食事会
文化の伝承

学童
幼稚園
学習スペース
ホール
※夜間は一般開放
様子を見ながら仕事
学習スペース
Cafe
コワーキングスペース
Shop

貸しキッチン
地域住民との交流
持ってきたお弁当やご飯を一緒に食べる
本を読んだり将棋や能を学べる
子供の空想のままにつくる

¥ 支援・補助金
まちの活気
¥ 支援・補助金

パトロン
教育＋X＝？？？
なにか面白そうな予感

¥ 商品の購入
施設の利用
一般の利用者
¥ 作成の依頼
工房の利用
¥ 商品として販売

パブリックビューイングで観戦
オリンピックに訪れた人々
日本の文化を触れてみたい
オリンピック、日本を楽しみたい
千駄ヶ谷の文化に触れる

子ども食堂
共働き世帯
シングルペアレントの食事の提供を支援
温かい食事

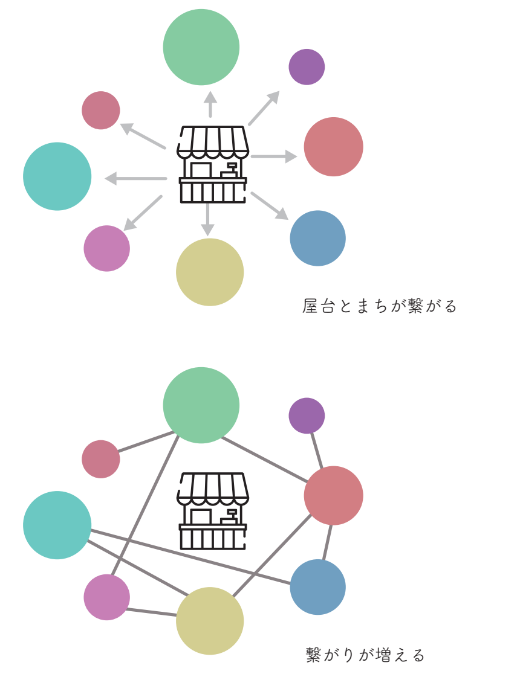
図書館
能舞台
将棋サロン
工作スペース
千駄ヶ谷の歴史
まちの読書会

工房
家具の作成
屋台の作成
子供たちの工作
若手アーティスト
自分たちで増築、減築

¥ 周辺で行われるイベントに使用
ex) パブリックビューイング、マルシェ、フリーマーケット、祭り etc

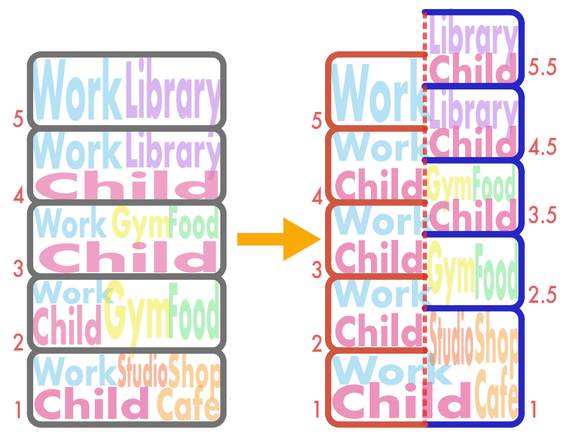
05.Community

施設内の工房では家具や屋台の制作も行っておりそれらを使い街の中でマルシェなどのイベント時に利用される。


屋台とまちが繋がる
繋がりが増える

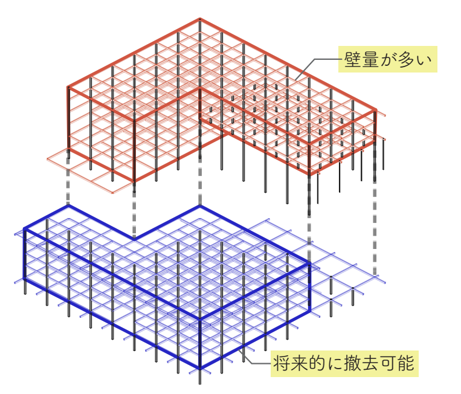
06.Program

半層ごとに建物を上下にずらすことで階ごとに完結していた機能が上下階で繋がりを持つ。

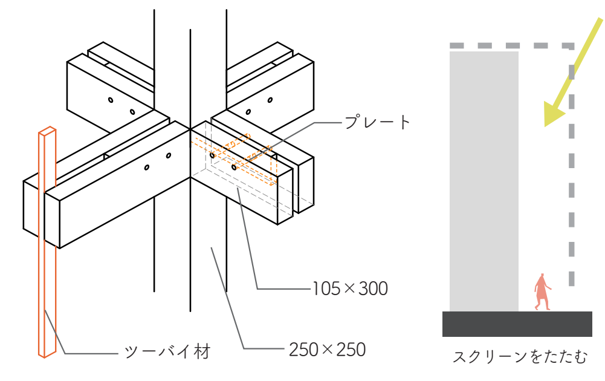

Work Library
Work Library Child
Work Gym Food Child
Work Child Gym Food
Work Studio Shop Child Cafe
5
4
3
2
1
5.5
4.5
3.5
2.5

07.Structure

建物を二つに分け半層ごとずらすことで柱が座屈しないようにしている。また、周辺の建物側に壁を集中させ構造的に強くしているため将来的に建物を縮小して利用することができる。

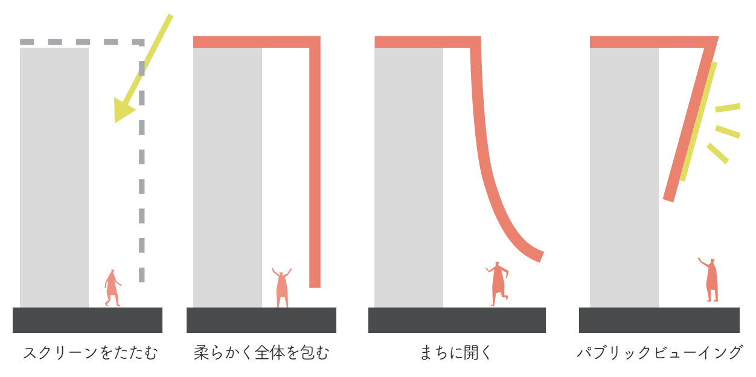

壁量が多い
将来的に撤去可能

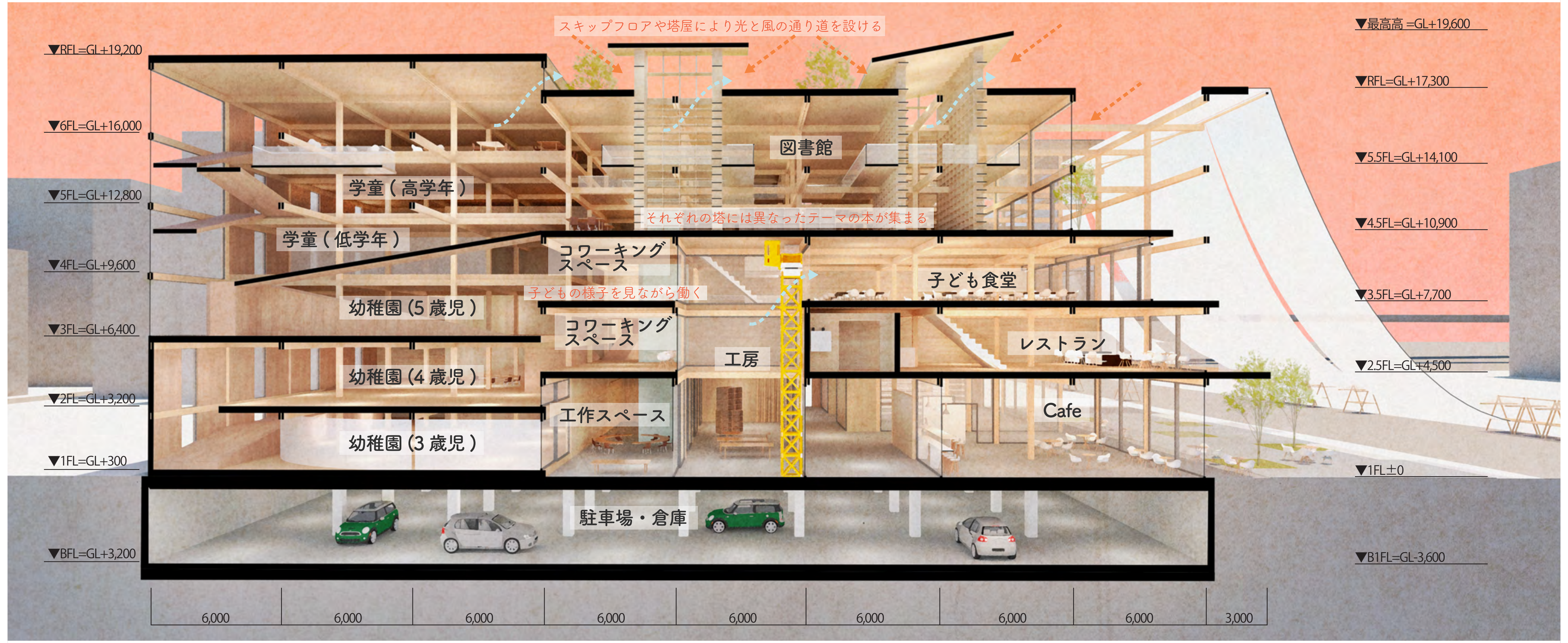
２本の梁でプレートを挟み込み柱と接合している。梁と梁の間には 38mm の隙間がありツーバイ材により拡張することが可能となっている。


プレート
105×300
ツーバイ材
250×250

08.Variation

ファサードのスクリーンは 6m 単位で分割され、それぞれ収納することができるため季節や天気などまた、時に行われるイベントなどに合わせて様々な使い方ができる。

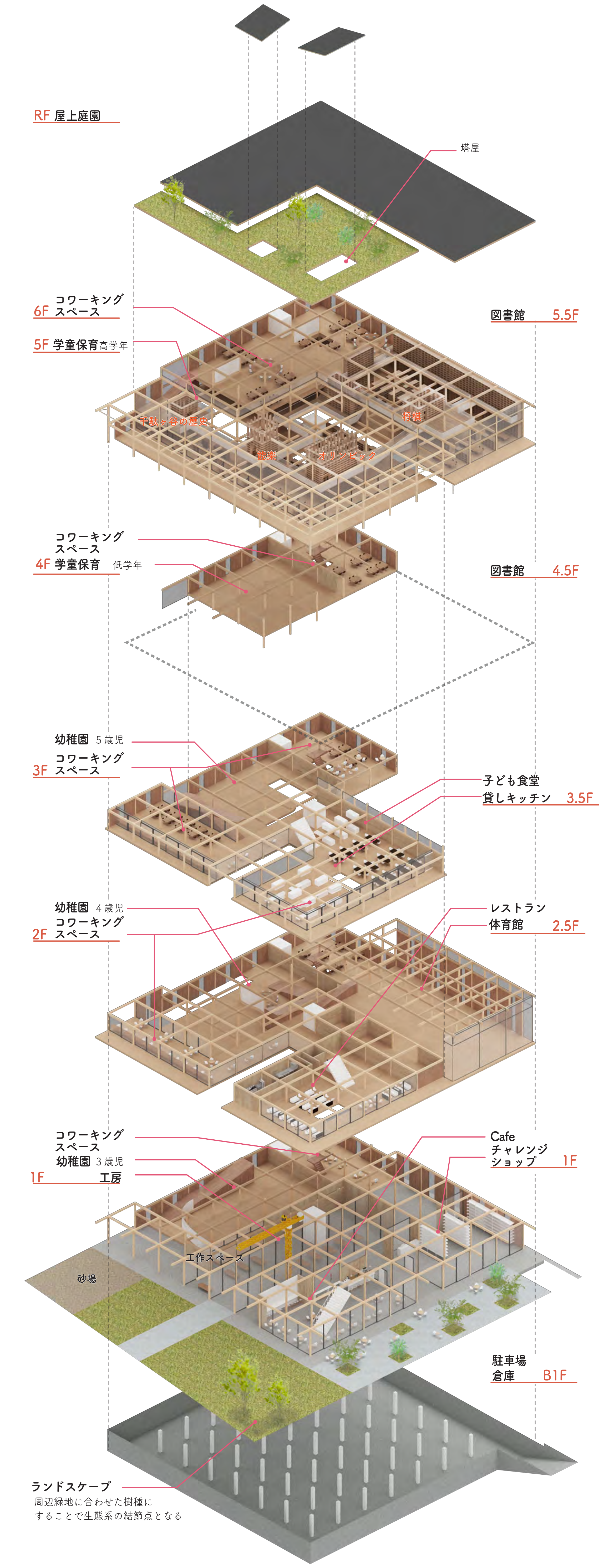

スクリーンをたたむ
柔らかく全体を包む
まちに開く
パブリックビューイング


スキップフロアや塔屋により光と風の通り道を設ける
それぞれの塔には異なったテーマの本が集まる
子どもの様子を見ながら働く
▼RFL=GL+19,200
▼6FL=GL+16,000
▼5FL=GL+12,800
▼4FL=GL+9,600
▼3FL=GL+6,400
▼2FL=GL+3,200
▼1FL=GL+300
▼BFL=GL+3,200
▼最高高 =GL+19,600
▼RFL=GL+17,300
▼5.5FL=GL+14,100
▼4.5FL=GL+10,900
▼3.5FL=GL+7,700
▼2.5FL=GL+4,500
▼1FL±0
▼B1FL=GL-3,600
図書館
学童（高学年）
学童（低学年）
コワーキングスペース
幼稚園（5 歳児）
コワーキングスペース
幼稚園（4 歳児）
工作スペース
幼稚園（3 歳児）
工房
子ども食堂
レストラン
Cafe
駐車場・倉庫
6,000
6,000
6,000
6,000
6,000
6,000
6,000
6,000
3,000

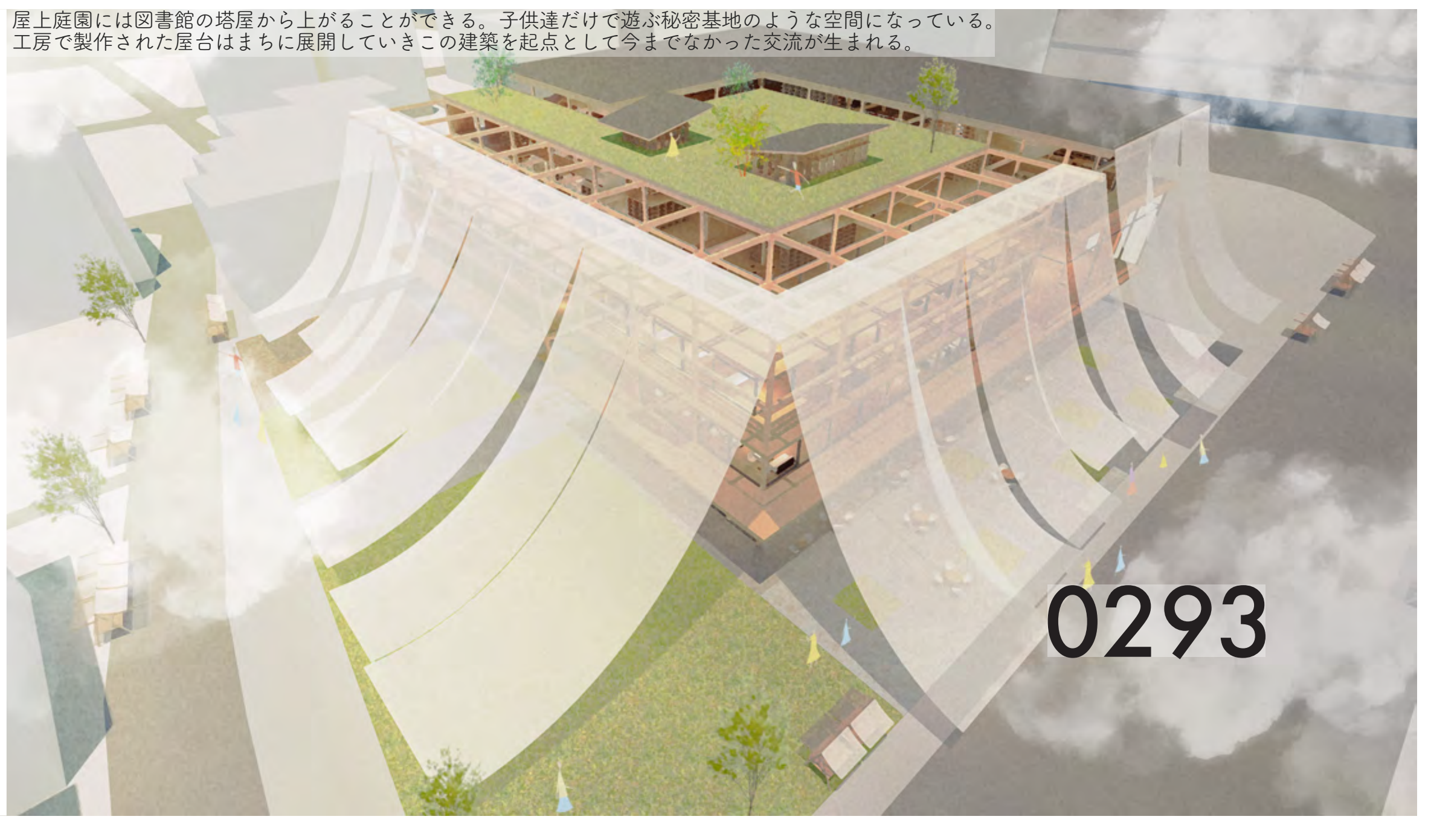
吹き抜け空間により幼稚園、学童保育、図書館、コワーキングスペースが繋がる。

ファサードのスクリーンに投影し、パブリックビューイングを行うことができる。パブリックビューイング以外にも様々なイベントで使用できる。
体育館は昼は子供達が使用し、夜は地域に開放している。地域の住民であれば誰でも使用可能となっている。

アクソメ


RF 屋上庭園
塔屋
6F コワーキングスペース
5F 学童保育高学年
図書館 5.5F
千駄ヶ谷の歴史
将棋
能楽
オリンピック
コワーキングスペース
4F 学童保育 低学年
図書館 4.5F
幼稚園 5 歳児
3F コワーキングスペース
子ども食堂
貸しキッチン 3.5F
幼稚園 4 歳児
2F コワーキングスペース
レストラン
体育館 2.5F
コワーキングスペース
幼稚園 3 歳児
1F 工房
Cafe
チャレンジショップ 1F
工作スペース
砂場
駐車場
倉庫 B1F

ランドスケープ
周辺緑地に合わせた樹種にすることで生態系の結節点となる


屋上庭園には図書館の塔屋から上がることができる。子供達だけで遊ぶ秘密基地のような空間になっている。
工房で製作された屋台はまちに展開していきこの建築を起点として今までなかった交流が生まれる。

0293